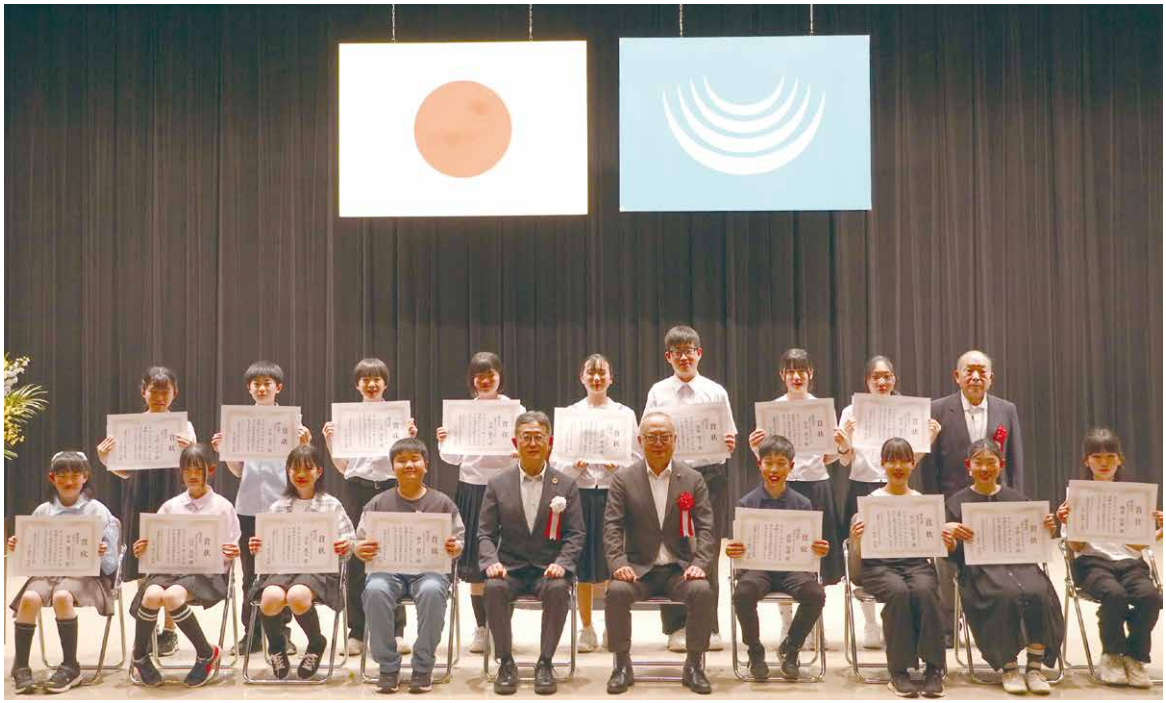
6/15 未来に向かって夢や希望を力強く発表！

少年の主張大会



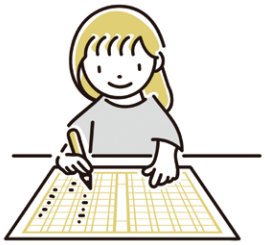
６月15日(日)に神岡町公民館で開催され、中学生６人、小学生10人が参加しました。
それぞれ将来へ向けた思いや生活の中で感じていることなどを力強く述べました。
また、上田智木さんと舩坂優斗さんが県大会飛騨地区選考会に進みました。

小学生出場者

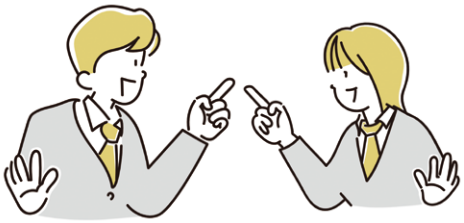
小谷奏太　『家族の嬉しさ』
桒田祐乃　『挑戦したその先に』
柳瀬咲穂　『みんなでつなぐ「古川祭り」』
谷倉六花　『私の大切な祭り』
田村結衣菜『繁殖犬が大切にされる国へ』
堀脇旭飛　『シャチから見た環境問題
　～ぼくたちができること～』
藤戸貴生　『地域の宝を守るために』
田家楓花　『自分を変えようと思える力』
山田羽琉　『大切な人との関わり』
伊後穂奈美『小さな学校でも、楽しい毎日！』

中学生出場者

上田智木　『踏みとどまれる社会へ』
河渡悠月　『心からの「ありがとう」』
建村唯羽　『向き合うこと』
舩坂優斗　『僕が生まれた意味』
清水理子　『改めて考える「当たり前」』
蒔田実音　『これまでの私、これからの私』



市ホームページから
当日の様子を
ご覧いただけます。



飛騨市役所

ホームページとSNSで掲載以外のまちの話題も配信中！

6/4 地域に田園風景を…古川西小で「米作り体験」

古川西小学校の５年生が、農事組合法人「みのりの里」の皆さんの指導を受けながら、同校横にある広さ約300平方メートルの田んぼで田植えを行い、稲の苗の手植えを体験しました。

6/5 宮川町の児童と園児が認知症啓発活動の一環で種まき

認知症啓発活動のテーマカラーであるオレンジ色の花を育てる「オレンジガーデニングプロジェクトin飛騨市」の一環で、宮川小学校の児童と宮川保育園の園児がキバナコスモスの種を蒔きました。

6/6 宮川下流漁業協同組合が魚類生息状況など「河川環境調査」を実施

宮川の河川維持流量の抑制による「河川環境調査」を宮川下流漁業協同組合が行い、今回の魚類調査ではウグイやアユなど宮川の代表的な魚種を捕獲し、調査がされました。

6/10・11 クマの生態を知り被害対策を考える会を開催

「クマの生態を知り被害対策を考える研修会」が神岡町と古川町の両会場で開かれました。市鳥獣被害対策サポートセンターの原田大輔さんからクマの生態や遭遇を避けるための心得などを学びました。

6/15 新たな防災に関する研修会「防災ワクチン®in飛騨市」開く

災害現場を撮影した「一枚の写真」を眺めながら、災害の発生状況や被災者心理を読み解き、対策を考察して災害への免疫力を養うワークショップ「防災ワクチン®in飛騨市」が開催されました。

6/15 奥飛騨トレイルランに市内外から210名が参加　日々の成果を発揮

ひだ流葉スキー場周辺のコースを走る「第12回奥飛騨トレイルラン2025」が行われ、市内外から210名の選手が出場しました。悪天候の中、各ランナーは日頃の練習の成果を発揮し、次々にゴールしました。

6/15 「飛騨市長杯ゴルフ大会」が開催されました

飛騨数河カントリークラブの主催で、飛騨市長杯ゴルフ大会が開催され、市内外から36名が参加しました。大会結果は【優勝】細田利明さん(中央)【２位】清水能正さん(左)【３位】二山真二さん(右)でした。

6/16 MSJ・MSリーダーズが神岡小学校であいさつ運動を行いました

神岡中学校と飛騨神岡高校のMSリーダーズが、神岡小学校で16～20日の５日間「ふるさと挨拶運動」を行い、登校する小学生を笑顔で迎え、ハイタッチをしながら元気にあいさつを交わしました。

6/18 行政相談員へ感謝状

行政相談員の松井重隆さん(河合町)に対し、岐阜行政監視行政相談センターより感謝状が贈呈されました。令和３年６月の委嘱以来、市民と行政の橋渡しとなって行政相談活動に尽力されています。

6/15 『ギターの散歩道 in KAMIOKA～ギターあ・れ・こ・れ マチネコンサート～』

神岡町にゆかりのある演奏者を迎えた演奏会『ギターの散歩道 in KAMIOKA～ギターあ・れ・こ・れ マチネコンサート～』が地域交流センター船津座で開催され、約120人が来場しました。

6/16 消防救助技術東海地区指導会の代表選手選考会が行われました

７月24日に三重県で開かれる「第53回消防救助技術東海地区指導会」へ飛騨市消防本部を代表して出場する救助隊員の選考会が古川消防署で行われ、19歳から29歳までの若手11人が参加しました。

6/20 空き家の有効活用に向けたセミナーを開催しました

市内に所有している空き家の今後について困りごとや不安を持っている人、空き家をリフォームして賃貸や民泊などに活用したい人などを対象にした「空き家利活用セミナー」が開かれました。

飛騨市役所

ホームページとSNSで掲載以外のまちの話題も配信中！

6/21 ボランティアが神岡街歩きガイドと「旧深山邸大掃除」を行いました

花街としてにぎわったころの面影を残す神岡町船津の「旧深山邸」の大掃除が行われ、今年は神岡街歩きガイドの皆さんとともにボランティアの方々も参加して作業に汗を流しました。

6/22 宮川下流域のプラごみ回収 ボランティアが汗を流しました

生態系や生活環境、漁業などに悪影響をもたらす海洋プラスチックごみを川の上流から減らそうと、市内外のボランティア46人が宮川町桑野の河川敷で河川清掃活動を行いました。

6/22 吉城高生が酒蔵を見学したり 仕事への向き合い方を学びました

吉城高校の２年生９人と３年生３人が(有)渡辺酒造店を訪れ、同社の渡邉隆専務や三好こころさんの案内で酒蔵を見学したり、日本酒や日本の食文化の現状、仕事への向き合い方などについて学びました。

6/26 古川中１年生が防災ゲーム「風水害24」を体験しました

古川中学校の１年生を対象に「防災マイプロ」の一環として、災害時を想定したシミュレーションゲーム「風水害24」を体験しながら防災の知識と技能を学ぶ授業が行われました。

6/28 飛騨市が「山城ガイド」を認定 小島城跡で合格発表

国指定史跡の「姉小路氏城跡」の魅力を広く紹介してもらおうと市が公募した「山城ガイド」養成講座の受講者のうち15人が認定試験に合格し、都竹市長から認定証が授与されました。

6/29 「江馬氏館」「増島城」 復元イラストのラフスケッチが公開

城郭イラストで知られる香川元太郎さんの遺作のラフスケッチ「江馬氏館」の写しが11月30日(日)まで江馬氏館跡公園で、同「増島城」の写しが令和８年３月31日(火)まで道の駅アルプ飛騨古川で展示されます。

世界最大級の人工地下空洞を一般公開

世界最先端の素粒子観測装置「ハイパーカミオカンデ」を設置するため、神岡町内の地下600mで行われていた地下空洞がまもなく掘削完了することを記念し、県内外から約600人を招いた見学会が開かれました。

巨大水槽が設置される地下空洞の底部より

神岡町コミュニティセンターで動画視聴

バスに分乗して出発

地下空洞・底部を見学

超純水製造装置の設置場所を見学

地下空洞・上部からの光景

各研究者から説明を聞きました

スーパーカミオカンデ(SK)の100年分のデータを10年で

この装置は、ニュートリノなどの粒子の観測を通して、私たちの体や宇宙をつくる物質はどのように生まれたのか、素粒子の本当の仕組みはどうなっているのかなどの謎に迫るもの。ＳＫの有効体積の約８倍もの巨大タンクに大量の超純水が蓄えられ、これまでの２倍の性能をもつ超高感度光センサーが敷き詰められます。ＳＫの100年分のデータを約10年で得ることが可能とされ、2028年の観測開始を予定しています。

世界最大級の地下人工空洞を高度な技術で実現

地下空洞は直径69m、高さ94mの円筒型で、上部はドーム型になっており、地下の人工空洞としては世界最大級を誇ります。また、隣には超純水をつくる装置を設置するため、幅16m高さ17m奥行101mの空間も掘削されました。